

第 19 回 練馬区立大泉第二中学校の教育環境保全および都市計画道路の整備に関する 有識者委員会 議事概要

日 時：令和元年 5 月 15 日（水） 19 時 00 分～19 時 45 分

会 場：練馬区役所本庁舎地下 2 階 多目的会議室

出 席：

委員（50 音順）

安藤委員、大沢委員、久保田委員、関委員、葉養委員、堀委員、宮下委員、柳澤委員

事務局等

平林土木部長

計画課

小山課長、長谷川まちづくり担当係長

学校施設課

竹内課長、桑原管理係長

教育施策課

吹野課長

次第 1：開会

委員長

これより、第 19 回練馬区立大泉第二中学校の教育環境保全および都市計画道路の整備に関する有識者委員会を始めます。

本日の議題は提言（案）についてです。

次第 2：資料説明および討議

（委員長より提言（案）について説明）

委員長

委員の皆さま、ご質問、ご意見等があればお願いします。

委員

P.10 で、 の用地について学校関連用地としての活用を検討するとしていますが、学校の一部とする場合と、他の公共施設として整備して学校が利用する場合があります。現段階で、区がどのように考えているのか、その点をご説明下さい。

事務局

区としての状況ですので事務局からお答えします。この用地は都市計画道路事業の関連用地として取得しました。活用につきましては現状では具体的に決まっているものではありません。

ご検討いただいております提言の内容を参考にしながら、区としての活用策を示していきます。

委員

イの「校地の再形成案」が一番妥当だという結論に至っていますが、用地取得が伴うことから、関係権利者に対してはかなり丁寧な対応が必要であると思います。また、実際の設計時には校舎やグラウンドの配置が変わる可能性もあります。ケースバイケースで校舎配置や校庭の作り方を計画する必要があるということを記載しておくべきだと思います。

委員長

P.17 参考資料1のように、様々なパターンからP.20の参考資料3のような具体的な検討、議論をしてきました。確かに、用地取得という現実的な問題とセットで検討しなければなりません。

事務局

P.15の再建案の総評のところに「校地の再形成案を実現するには、」という記載がありますが、「際には、」のあとに、「関係権利者に対して丁寧な対応が必要であり、」を追記し、その下の「本委員会で挙げた意見も取り入れつつ」の後に「用地の取得状況を踏まえながら」を追記して「設計段階に更なる検討を行うべきである」に繋げてはいかがでしょうか。

委員

私はそれでよいと思います。

委員長

ご了承いただいたということで、2箇所追加します。その他いかがですか。

委員

P.3の地域のまちづくりについてですが、これまで主に都市計画道路という「線」と大二中という「点」について議論してきたところですが、地域全体、つまり「面」を意識して道路の在り方も地域全体で考え、地域に関係のない車は都市計画道路を通り生活道路には入らないよう、街区レベルで検討しないといけないと思います。そこで例えば、「狭隘道路の拡幅、都市計画道路の沿道の適正な土地利用」の間に「道路の段階構成」を入れたらどうでしょうか。

委員長

言葉としてもう少し説明があった方がよいのではないのでしょうか。広い道路を整備しますと様々な車が流入してしまうことがあります。それを抑制する考えが、交通計画の分野では道路の段階構成という概念になります。幹線道路は通過交通をさばき、それに囲まれた、いわゆる生活道路には通過交通を入れないようにする。地区レベルでの交通計画をしっかりと行わなければいけないという事です。文章は相談のうえ、ここに加えましょう。他はいかがでしょうか。

委員

再建案では校地に都市計画道路が面している案があります。仮にこの案となったとき、環境保全が重要なテーマになるでしょう。騒音や排気ガスなど環境への懸念が出てくるかと思います。環境に配慮するということは委員会の中では当然と捉えています。提言にも記すべきであると思います。例えば、P.16の「おわりに」のところに具体的な記載をしたらどうでしょうか。

委員長

基本的なところですね。記載内容などについては終了してから相談させて下さい。

他はよろしいでしょうか。

まとめますと、P.15については、先ほどの文章を追加します。P.3については、交通計画でいう段階構成をしっかりと守るというような修正にしましょう。P.16については、子供たちに対し環境へ配慮するという趣旨にしましょう。3つのうち1つは文章がまとまりましたが、あとの2つについてはどうしましょう。

委員

残り2つについても文章化が必要と思いますが、大きな変更ではないので委員長に一任という形でよろしいかと思います。

委員長

では、事務局と相談しまして、責任をもって修正させていただきます。

今回は提言(案)をまとめる節目の回でもありますので、これまでを振り返って、それぞれご感想などあれば一言お願い致します。

委員

私は教育政策が専門ですが、建築や都市計画に関しては、専門的な立場の人にとって厳しい反論が出てくるようなことも意見として受け止めていただきました。この提言の中には各委員の意見がかなり入っていると思います。教育の領域に関してはかなり長期的なスパンで考えていけないといけません。大二中の再建も、全体的な教育内容のイノベーションとかなり重複した形で進行する可能性もあります。そういう視点を是非入れてほしいと思い、「おわりに」の前に「中学校の将来像について」として入れていただきました。到達点まで来たと私は評価しています。

委員

これまで学校の計画にアドバイザーとして携わることも多くありましたが、道路が敷地の真ん中を通るような条件は今回が初めてでした。最初は戸惑い、良い学校は造れないのではないかと感じましたが、様々な再建パターンを検討し、研究室でも幾つかのパターンを作るといったことを通して、造り方によっては色々なバリエーションができるということを実践をもって理解できました。敷地活用の仕方によっては、かえって新しいタイプの学校を生み出せる余地があると思います。今後どういう設計をしてどういう計画で進めるかが重要ですし、今後のモデルになる可能性も秘めていると思います。引き続き、協力できることがあれば協力していきたいです。

委員

今日でひとつの区切りとはなりますが、今後も引き続き丁寧に対応していくことが重要です。前提条件として中学校と都市計画道路がある中で、大泉学園駅南側地域の在り方について考えていくことが大切ではないかと思います。これまでは「点」と「線」の議論が多かったですが、今回はそれを踏まえて「面」をどうやって考えていくか。時の流れの中で求められるニーズは変化していきますが、それらを的確に捉えながら、地域全体が持続的に発展していくこと考えるべきだと思います。今後も丁寧に議論を行い、お互い知恵を絞り出しながら検討を進めていければと思います。

委員

先日、卒業された生徒の保護者様からお話を聞く機会がありました。大二中の桜について、老木となって毎年何本か切らないといけない状況をどう思うか聞いてみると、可愛い桜が咲くのを毎年見ることができたが60年経つので仕方がない。また新しい桜を植えていけばいいのではという意見を聞いた時、新しい木に植え替えることも大切だと思いました。娘も卒業生ですが、とてもいい学校だったと言っていました。ただ、校舎は古くプールも汚かったとも言っており、可哀そうだったかなと思うところもあります。また、次の子供たちが学びやすい、いいなと思える学校であればとも言っていました。是非とも子供目線で学校作りを進めてほしいと思います。

委員長

今後の練馬だけでなく日本のまちをどうしていくかを考える際、陸上を走る乗り物は間違いなく続きますので、そのための空間である道路は必要です。また、最近の残念なニュースのようなことは根絶しないとイケない。そのため、中学校の周辺環境の中で安全に通行できる道路は絶対要件です。幹線道路は幹線道路として整備し、それに囲まれた街区の中には通過交通が入ってこないよう安全に歩けるようにする。そういう状況をつくり出すということが、都市計画における非常に重要な概念なのです。一方で、大二中の生徒がこれまで以上に楽しく快適に学べる環境を整えるということも重要ですので、委員の皆様からたくさんご意見を頂き、その結果3つの案を絞り出すことができました。まずは、この提言を出発点として進めていただければと思います。大泉学園駅南側地区の課題解決に向けて、引き続きご助力宜しくお願い致します。

次第3：その他

事務局

今後については改めてご連絡申し上げます。

次第4：閉会

委員長

以上をもちまして、第19回有識者委員会を終了します。

以上